タイトル	学部	授業名（主たる教科領域）	執筆者
友達の思いに気が付き共感しよう！ ～スプレッドシートを使った交換日記の取組～	高	ホームルーム ３年 （道徳）	

＜ねらい＞

１．自分の気持ちや出来事を文章に書いて表現できるようになる。
２．友達に自分の気持ちや出来事を文章で書いて伝えられるようになる。
３．友達の思いに気が付き、共感し伝える力を身につける。

〈生徒の実態〉

・２Gの生徒は、１人でタブレットＰＣを操作することはできるが、宿題として継続的に文章を書くことは、家庭のフォローが必要となることから、１Gの生徒（４人）のみの実施とした。
・Ａは、自分に自信がなくその理由を他人のせいにすることがある。
・Ｂは、小・中学生の時にマンツーマン指導であったため、コミュニケーションは得意だが教師など大人が中心で友達と活動することが少なかった。
・Ｃは、誰とでもコミュケーションが取れるが、一方的で友達の気持ちに気づけないことがあった。
・Ｄは、自分の思いに気が付くことが難しく、友達に伝えることが苦手で会話のテンポに付いていけない。

えにっき　スプレッドシート

〈取組内容〉

１．自分の気持ちや出来事を、文章で表現できるようになる。
　（１）長期休業中に、タブレットＰＣのアプリケーション「えにっき」に、写真や文章でその日の出来事を記入する。
２．自分の気持ちや出来事を、友達に文章で伝えられるようになる。
　（１）「えにっき」に記入することが定着した後、Google「スプレッドシート」（みんなの日記）に、毎週土曜日記入する。
　（２）友達に読んでもらうことを意識して、伝えたいことを端的に文書に書けるようになる。
３．友達の日記に共感できるようになる。
　（１）コメント欄に共感するコメントを記入する。

＜良かった点・改善点（児童生徒の反応を含めて）＞

１．普段あまり会話しない友達の日記を読み、コメントを記入することでコミュニケーションクラスの友達とのつながりができた。
２．１Gの仲間意識が強くなり、クラスの話し合いでも、４人が集まり意見を出しあって活動する場面が増えてきた。
３．コメントに記入することが楽しくなったことによって、タブレット使用時間が９時過ぎとなり、指導が必要となった。SNS 同様、タブレット端末の使用のルールの指導が必要であった。
４．友達からのコメントに、共感したり、お礼を再コメントする生徒もいてコミュニケーションの幅が広がったり、社会性が身についた。

A C

D

D